

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会  
460-0006 名古屋市中区葵1-27-32 カイフビル7階

# HD ニュース

No.2  
2013.02.15

今後の予定／於：事務局会議室

- 2月18日(月)19:00～ 役員会
- 2月19日(火)18:00～ 相談委員会
- 2月19日(火)19:00～ 研修会
- 2月28日(木)19:00～ 木造技術研究会
- 3月1日(金)13:30～ 研修会／於：サマエンジニアング
- 3月11日(月)13:00～ 情報委員会

## 会の活性化・強化を目指して！その2

理事長 滝井幹夫

会員の皆さん HDニュース 創刊1号をどのように受け止められましたか？ 今後は内容の充実と会員外関係先へも送信・配布に努めたいと思います。

このニュース発行以外にも新体制になって、次のように企画を立て、実行しつつあります。

1. HP内容を更に充実と速やかな更新に努める。
2. NPOに相応しい事業活動(委託・共同・助成事業など)を開拓し、会員参加の場を創る。
3. 役員会(理事・各委員長で構成)を隔月程度に開催し、会全体の目配りを機敏に行う。
4. 各委員会・研究会の活性化と相互の連携強化。

5. 正会員・賛助会員を増やし、会の強化・収支の安定化を図る。

既に役員会を3回開催して会の活性化・強化の議論を重ね、事業活動の一環として、コープあいち福祉基金・助成申請書を提出。審査結果が分かるのは、4月です。

何事も容易ではありませんが、皆さんに支えられて少しずつでも前へ進めたいと決意しているところです。

これまでに増して、ご支援・ご鞭撻を切に願う次第です。

## 伊藤京子さん「黄綬褒章」受章

本会の会員の伊藤京子さんが「黄綬褒章」を受章されました。おめでとうございます。

伊藤さんは、これまで愛知建築士会前副会長歴任など、建築関係団体の発展につくされました。そう

した功績が認められ今回の受賞となりました。

祝賀会が2月1日に名古屋マリオットアソシアホテルで盛大に開催され、本会からは、滝井幹夫理事長と片山繁行理事が出席し祝意を表しました。

## 木造技術研究会のテキスト

2013年の木造技術研究会を進めるにあたり、昨年と同様に読書会を行うことになり、いろいろな本を持ち寄り検討し、住宅性能表示・住宅エコポイント・長期優良住宅などで、審査機関も本書を基準にしているの以下記に決まりました。

### 『木造住宅のための住宅性能表示』

(発行／日本住宅・木材技術センター ¥4,100)  
書店やアマゾンで購入できませんので発行元のHPから注文して下さい。



井上邦克さんから技術研修委員会（研修会）の委員長を引き継ぐことになりました。

研修会は、ホームドクターが任意団体として発足当初からスタートし、回を重ねて100回を超える実績を積んでいます。先日、これまでの研修会の講座内容の一覧を確認しましたが、その記録は驚嘆するものでした。月に1回のペースで行なう講座をどんな内容にするかをまず考え、講師を探して依頼し、案内を発信する…そして実施。これは大変な仕事です。迎える講師によっては、スケジュールを早くから押さえておかなければならないでしょうし、内容も、いわゆる発想の「ネタ切れ」を起こさないように常に頭にアンテナを張っていなければなりません。もちろん、技術研修委員会が単独で立案してきただけではなく、事務局や他の委員会役員の協力のもとで、前研修委員長のご苦労があって続けてこられたものと思います。

さて、引き継いだ研修会を、今後どのように進めていくかということについてですが、頭を悩ませています。かわり映えのしない活動ではいけないとは思っていますが、研修会の講座の実施は、基本的に今までの要項を踏襲したいと思います。

原則、月に一回の講座開催のペースは守り（定期の講座）、さらに特別な見聞枠を設けられたらと考えています。また、他の委員会とのコラボレーションができるような連携もあって行きたいです。

講座の内容については、これまで実施された内容をすべて踏まえたうえで、これからの研修会を継続させて行くことを第一に進めていきたいと思っています。かならずしも研修内容を「〇〇講座」と

名づけて分類してしまうつもりはありませんが、研修内容を考える際に、以下の「分類項目」をヒントにしたいと考えています。

- ・「再入門講座」 過去に1回以上の講座が行われている内容であっても、新制度や仕様変更などで再度の勉強が適切と思う場合など。
- ・「時宜にふさわしい講座」 法規や条例の改正や、新制度の実施があった場合の勉強、新商品や新技術の知識を得るための勉強など。
- ・「シリーズ講座」 比較することでより知識が深まると思われる場合、複数回の連続にしたり1回の講座で抱き合わせる内容。例として地震の被害を回避する仕様となる耐震・制振・免震や、不良地盤で建てざるを得ない場合の地盤補強法である表層改良・柱状改良（最近はかなりの種類があり、隣地の都合で掘ったり削ったりできない場合の補強に適切なものとそうでないものとある）・各種の杭などの勉強会。
- ・「自前講座」 会員の建築士が講師となる勉強会。
- ・「実践講座」 自分たちで発表や討論をする。ワークショップか。
- ・「見学講座」 メーカーの商品発表などの案内があった場合に見学に行く。通常の研修会の夜間の実施は不可能でしょうが、参加可能な人が集まれるならば実施。

つれづれに、書いてしまいましたが、今、設計事務所の建築士をとりまく経済状況はとても悪く厳しい時代になっています。研修会で「生き残れる建築士とは」なんていう講座があれば、真っ先に聞きに行きたい私です。（参加者も多いか？）

### ■木造技術研究会 1/17 19:00~21:00

2013年の研究会の進め方について、『木造住宅のための住宅性能表示』をテキストと決定。

### ■マンション大規模修繕研究会 1/24 18:00~19:00

「マンション再生の真実」日経アーキテクチャーの読み合わせ。次回からの研究会テーマを討議。

### ■技術研修会 1/24 19:00~21:00

「ケーススタディー/高齢者のための住環境整備」  
講師：内藤恵子（設計室ないとう）

### ■情報委員会 1/28 13:30~15:00

HPのプログラムについて